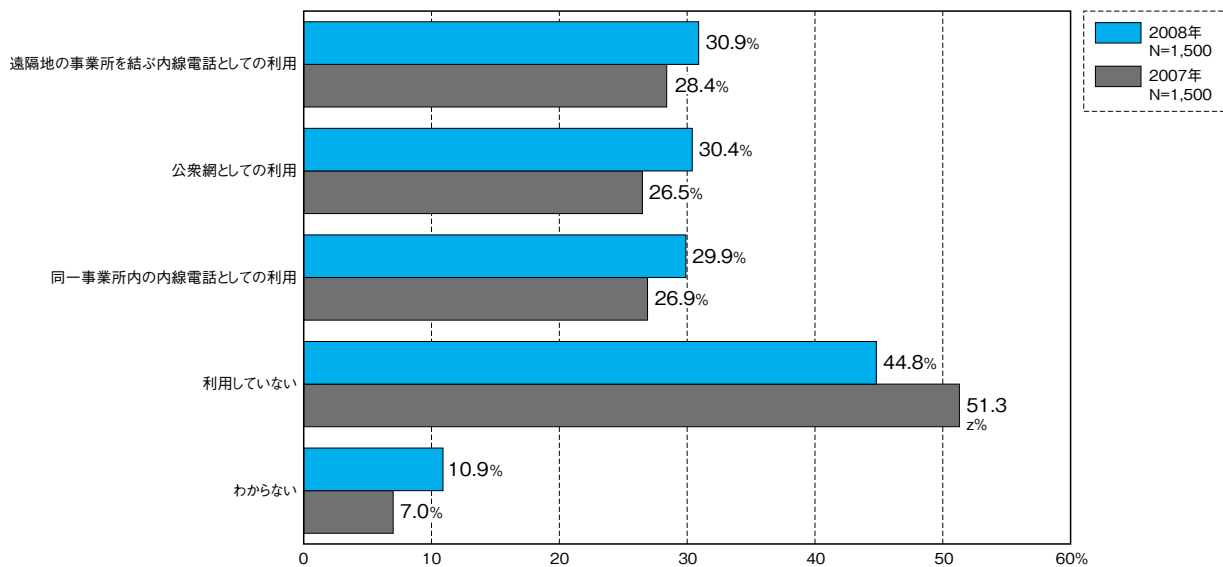


IP 電話利用形態

■ IP 電話の利用率は内線、公衆網とも3割

資料 7-7-3 IP 電話の利用形態(複数回答) [2007年・2008年]

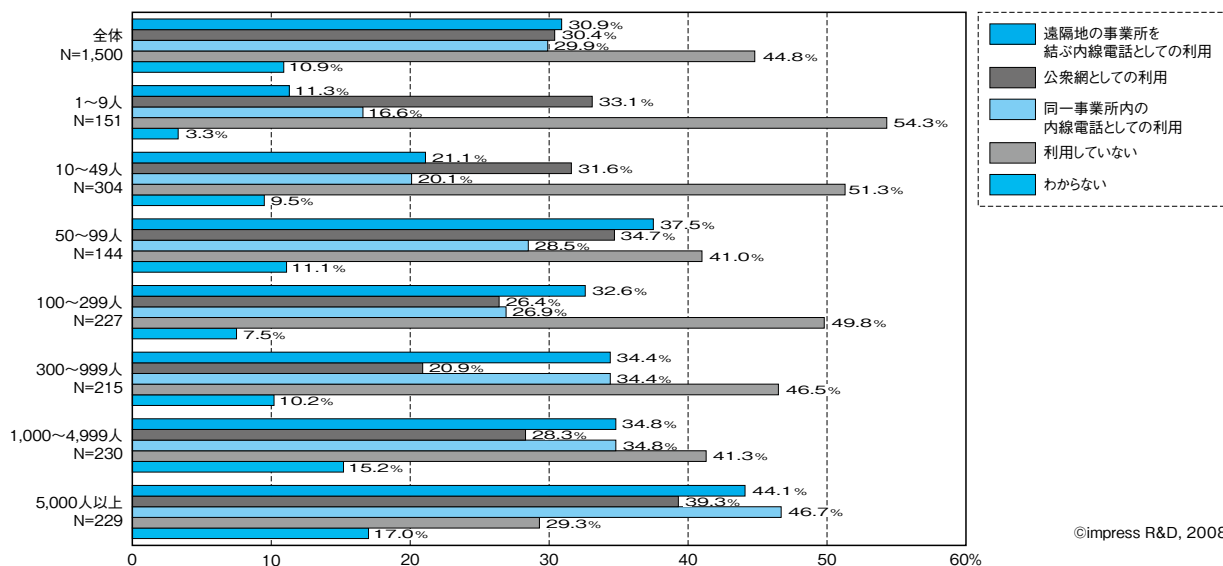


IP 電話の利用形態をみると、「遠隔地の事業所を結ぶ内線電話としての利用」や「公衆網としての利用」「同一事業所内の内線電話としての利用」の各目的とも昨年より増加して利用率は3割となっている。

©impress R&D, 2008

■ 大企業ほど内線電話で IP 電話を利用

資料 7-7-4 IP 電話の利用形態(複数回答) [従業員規模別]



©impress R&D, 2008

IP 電話の利用形態を従業員規模別にみると、小規模な企業では社員数が少ないことや遠隔地の事業所がない場合が多いこともあり、内線電話として(「遠隔地の事業所を結ぶ内線電話としての利用」や「同一事業所内の内線電話としての利用」)利用している場合は少ない。これらは規模が大きい企業ほど利用率が高くなる。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、データ、URL、名称など）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真・図の作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D（初期は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp